



ほしぞら新聞



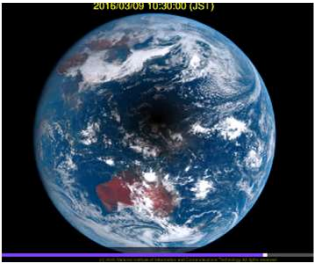
8月3日 20時半の星の位置
しねこるんで空を見た様子
(わく星は表示されていません)

6月 0時半ごろ
7月 22時半ごろ



★部介日食!★ 雨でした...

2016年3月9日に日本で部分日食が観察できる...はずでしたが、大分では残念ながら、雨で見る事ができませんでした。次に大分で観察できる日は2019年1月6日と12月26日です。少し先ですがたのみですね。太陽を観察するための「日食めがね」「日食グラス」「太陽観察プレート」とよばれるものは、われたりやぶれたり、きずがついていたら使えません。太陽を観察するときは、きずがないかなどきちんと調べてから使いましょう。



気象衛星(きしょうえいせい) ひまわり8号からみた、地球です。まん中あたりの黒いかげは、なんだと思いますか? これは月が太陽にたられて地球に落ちているかげです。

この月のかげの中にある地影は、日食がおきています。日食の時に、宇宙から地球をながめると、こんなふうに見えるのです。この黒いかげは、時間とともに動いていくので、日食の見える時間も場所もかわっていきます。

火星が地球にせつ近!

火星が2年2か月ぶりに地球に近づきます。望遠鏡で見ると火星の表面の色の様子などみることができてもいいかも! 名前のとおり火のように赤く明るい星が5月ごろから夜、目で見えるようになります。さぞざらーと一等星アンタレスと、まるで赤さくらべをしているかのようすがたもみることができそうです。土星も見えるのでどの星が、土星や火星といった「わく星」なのか空をみあけて考えてみてください。そして調べてみましょう。望遠鏡をつかうとわく星は、きらきら光る星とはうがった様子を見ることができて、さつおどろくと思います。海星館には大きな望遠鏡があります。ぜひ観察に来てください!



☆火星ってどんな星?



アンタレス=アンチアレス
火星にたいこうするもの、という意味があります。
むかしのひとは火星とアンタレスが
なにやら赤さくらべをして、きそあつていたと
思ったのでしょうか。

- ★地球の半分くらいの大きさ
 - ★岩石でできている
 - ★気温は低いところ-130度くらい
 - ★高いところ30度、平きんして-55度くらい
 - ★2年2か月ごとに地球をおいて
 - ★火星の1年は687日くらい
 - ★火星の1日は24時間よりちよと長い
 - ★えい星は2つ
 - ★火星のしくのかたむきが地球にている
なので四季の変化がある
 - ★火星全体をおおうよな
すなあらしがあき
 - ★太陽系最大の火山「オリンパス山」がある
...など!!
- 調べることもあります★

太陽系の第4の星で、地球の外側をまわっています。火星が赤いのは、さした鉄が多ふまれた土を太陽がらすからさうです。このうちの「フォボス」はだんだんと火星の引力にひびかれて、くたけてこれてしまふだろうといわれています。海外のたんさ機がこの火星をいま調べています。そして最近、この火星にはどうやらえき体の水があるようだ、というこがわかってきました。でも塩っぱいみみい! 火星の通りの道は、円をつぶしたような形、だえん形をしています。地球と火星はほぼ2年2か月ごとに近づきます。このだ円形の近いところで地球と近づくと火星大せつ近!といわれています。今年はおせつ近です。ということは、2年2か月後はなんと大せつ近! 今年の火星の様子を観察して2年後とくらべてみてください。

数えてみよう。流れ星☆

ずっと流れて消える光のすじをみたことがありますか? それはきつ流れ星。消えるまでにお願い事を3回いう事ができたのなら、そのお願い事はかなう...という言いつたえがあるのだそうです。一度はみてみたい流れ星。その流れ星が多くみえる日があるのです。「りゅうせいぐん」というこばを聞いたこはありませんか?この時がチャンスです。流れ星をみつけやすいものでおすすめなのは5月5日の前後1週間くらい「みずがめ座流星群」8月12日の前後1週間くらい「ペルセウス座流星群」ひろく夜空をみあげてください。そしてのんびりと待ちましょう。

流れ星の正体って知ってる? しらべてみよう!

上げんの月

お昼ごろにのぼって夕方空高くかがやく半月
観察にいい日
4月14日・5月14日・6月12日
7月12日・8月11日

まん月

太陽がしずむと、すぐに出て一晩中明るくかがやく丸い月
観察にいい日
4月22日・5月22日・6月20日
7月20日・8月18日

下げんの月

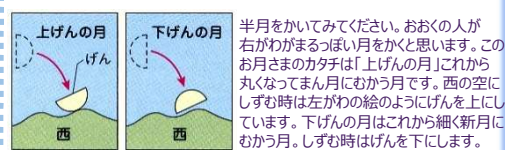
真夜中にのぼって明け方に空高くなげ屋前にしずむ半月
観察にいい日
4月1日・4月30日・5月29日・6月28日
7月27日・8月25日

小さなまん月 大きなまん月

4月22日のまん月は今年見られるまん月のなかで一番小さくみえます。月(は)地球のまわりを円がつつぶたような形「だえん形」でまわっています。それは地球に近いところと遠いところがあるということになります。この地球に近いところではまん月になると小さく、ぎやくに近いくところではまん月になると大きく見えます。ただ遠い場所にははうかんでるのでなかなか気づかないものなんです。今年、大きなまん月は11月に見られますよ。近いところでもさらに地球に近いところではまん月になるのですがこれがなんと68年ぶりというだから、わくわくしますね。4月22日とどのようにならうか、ぜひ観察してみましょう。



♪上げんの月・下げんの月の見分け方とおぼえ方



お月様をみよう

中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)という言葉をかいたことがありますか。日本にはお月見をする風習がこの日にあります。しらべてみると、日本以外にも世界中のいろいろな場所でお月見をしています。国や地いきによって、言いつたえや、お月見の方法がちがうので調べてみるおもしろいですよ。今年9月15日です。お月見ごころやすきをかざってお月見をながめてみましょう。秋のお月さまはきれいで、ながめるとちよと高い高さがあります。お月さまのもよう、何にみえるかな。絵にかいてみるおもしろいですね。

海星館イベント情報

わくは、海星館ホームページをらんください。

<p>4月</p> <p>4月2日 木星観察こうざ 4月3日 春の星ざ観察こうざ 4月16日 水星観察こうざ 4月22日 まん月と、こざ流星ぐんこう座 4月29日 星ざ早見ばん工作 4月30日 色ぬり星ざ早見ばん工作 4月29日 ~火星きかてん</p>	<p>5月</p> <p>5月1日 火星観察こうざ 色ぬり星ざ早見ばん工作 星ざ早見ばん工作 5月3日 わく星たんさ車工作 5月4日 みずがめざ流星ぐんこう座 5月5日 貝がらアートしよう 空気ロケット工作 5月14日 北斗七星と一番星こうざ 5月28日 火星と土星観察こうざ</p>	<p>6月</p> <p>6月19日 佐賀関歴史たんさく</p>	<p>7月</p> <p>7月1日 春の星と火星木星土星をみよう 7月23日 さそりざに集まる火星土星をみよう 7月29日 夏の大三角と火星土星をみよう</p>	<p>8月</p> <p>8月5日 信とうの七夕こうざ 8月6日 夏の大三角と土星こうざ 8月7日 べつ座流星ぐんこうざ 8月12日 べつ座流星ぐんこうざ 流星ぐんをみよう 8月24日 アンタレスと火星をみよう</p>
---	---	---	---	--

出張授業ご利用ください。

関崎海星館では、出前授業を行っています。4年・6年生の学習をより発展的に模型やシミュレーションソフト、実際の観測などでサポートしています。全学年に対応していますのでぜひご利用ください。相談やお問い合わせ等はお気軽に海星館までご連絡下さい。

- ★太陽望遠鏡で黒点やプロミネンスの観測
- ★月のルーターの観察
- ★上弦・下弦など月の満ち欠け
- ★星の並びや星の動き
- ★星の色・星の大きさ
- ★星座早見盤工作
- ★夜間の天体観測などご要望にあわせて行っています。

大分市生涯学習施設 関崎海星館

質問や感想、イラストなど、お待ちしております。学校へ出張教室も行っています。

879-2201 大分市大字佐賀関4057-419 TEL 097-574-0100

☆多太陽の観測 10時~16時30分
☆多夜の天体観測 19時30分~22時
(夜間観測は金土日祝と夏休み期間中連日)
身近な星「太陽」にはふしきがいっぱい。
昼間の天体観測もおススメですよ!

海星館には宇宙へ行っためだかの子孫が飼育されています。小学校で宇宙めだかの飼育を試してみませんか?春にうまれるめだかのあかちゃんをお譲りします。(夏以降の引き渡しとなります)ぜひご検討ください。